



ライラック

70 編は 指揮者によって。ダビデの詩。記念 と端書きにあります。神よ、速やかにわたしを救い出し／主よ、わたしを助けてください(2) と、詩人は主に助けを求めています。ただ、短い詩編なのに 速やかに が 2 度、遅れないうも付け加わっていて、切迫した思いが伝わってくる詩です。ダビデは 命をねらう者 災いに遭わせようと望む者 はやし立てる者(3) から執拗に命を狙われ、逃げ、隠れるしか道はなかったのです。

辱められ、貧しく、弱い中で、神による救いが唯一の希望でした。あなたを尋ね求める人 御救いを愛する人(5) 、詩人は、苦しみの極致にあつて、今すぐ助けが与えられるように祈っています。これは 40 編の最後の部分と類似しています。『讃美歌21』には関連讃美歌はありません。ジュネーブ詩編歌は 17 編、63 編にも用いられている曲で、リュート、ギター、ビオラ・ダ・ガンバの合奏による素朴な演奏です。 [Psalm 70 Genevan Psalter - setting by Claude Goudimel - lute, guitar and viol - YouTube](https://www.youtube.com/watch?v=...)

71 編は端書きがありませんが、70 編の最後の あなたはわたしの助け、わたしの逃げ場(6) を受けたかのように 主よ、御もとに身を寄せます(1) とありますので、70 編の続編のような響きがあります。詩人は、幼い頃を振り返り、将来に目を向けながら、信仰が助け、希望、祝福であると告白しています。

2 連では 主よ、わたしは若いときからあなたに依り頼み／母の胎にあるときから／あなたに依りすがって来ました。(5) と、あります。母の胎にある時から、主に信頼を置き、従ってきたのです。そのことで 多くの方はわたしに驚きます。(7) というほど、純真、従順な信仰に生きてきたのでしょうか。

3 連では 老いの日にも見放さず／わたしに力が尽きても捨て去らないでください。(9) とあります。詩人が年老いて弱さを覚え、しかも助けてくれるものが居ないと感じる時こそ、わたしの神よ、今すぐわたしをお助けください。(12) と、神を求めます。

4 連では わたしは常に待ち望み…神よ、わたしの若いときから／あなた御自身が常に教えてくださるので／今に至るまでわたしは／驚くべき御業を語り伝えて来ました。(17) とあります。常に主の導きを待ち、主に従って生き、助けて下さる神の力を人々に今まで伝え続けてきたと告白しています。

5 連では わたしが老いて白髪になっても／神よ、どうか捨て去らないでください。御腕の業を、力強い御業を／来るべき世代に語り伝えさせてください。(18) とあります。来たるべき世代にも主の祝福の業を、語り伝えたいという、信仰の継承を願う伝道者となりたいと願っています。

最後に詩人は あなたは多くの災いと苦しみを／わたしに思い知らされましたが／再び命を得させてくださるでしょう。地の深い淵から／再び引き上げてくださるでしょう。(20) と、死の床にあつても神への希望と信頼に生きています。わたしの舌は絶えることなく恵みの御業を歌います。(24)と賛美します。

『讃美歌 21』では8曲を関連付けていますが、391「キリストよ、救いの神」が、「急ぎ来て」と、「主の群れ」という共同体の信仰を歌っています。 <https://sanbika.blog.ss-blog.jp/2012-09-25>

ジュネーブ詩編歌はクラムホルンという先の曲がった管でできている中世の管楽器とオルガンの合奏です。 [Psalm 71 Genevan Psalter - setting by Claude Goudimel - crumhorn and organ - YouTube](https://www.youtube.com/watch?v=...)